



# 検査のとびら




作成 2024年 4月 検査室

発行 つくしが丘病院検査室・医療安全管理室

## 腫瘍マーカーについて

### 腫瘍マーカーとは

 腫瘍マーカーとは、がんの細胞から特徴的に作られるたんぱく質などの物質や、がんの時に変化する物質の総称で、血中の濃度を測定して、診断や治療に利用しています。現在数多くの種類の腫瘍マーカーが臨床検査の場で使われています。

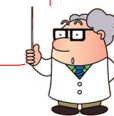
### 腫瘍マーカーはどのような目的で使われるの？

- 1、ハイリスクな（発生危険度の高い）人のがん診断の補助
- 2、治療の効果をみるため
- 3、経過観察するため
- 4、再発や転移が無いかを発見するため
- 5、がんを発見するためのスクリーニングとして（PSA）

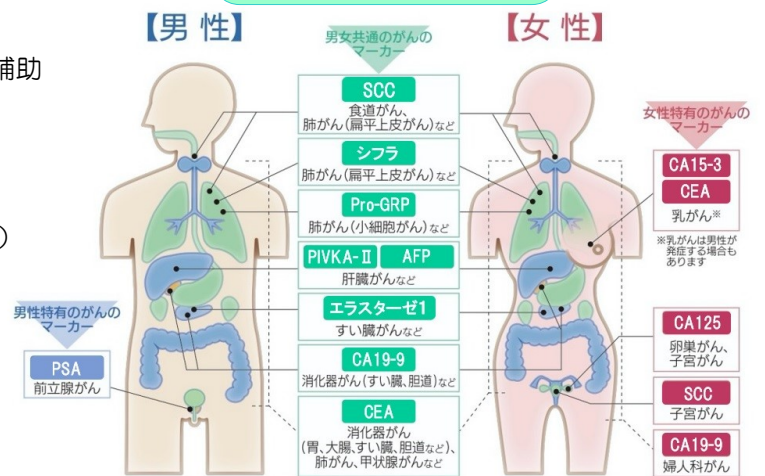
### 疑われる癌によって選択する腫瘍マーカーは違うの？

主な腫瘍マーカーは右図のとおりです。臨床症状や画像検査、血液検査で腫瘍の存在が疑われた時に、腫瘍マーカーは効率的に利用されます。

腫瘍マーカーの値の上がり下がりだけで、がんの存在や病態の悪化及び回復を判断する事は出来んぞ！。最終的な診断は、画像検査や身体所見、その他の結果などを合わせて、総合的に行われるのじゃ！



### 腫瘍マーカーの種類



### 実際に利用される主な腫瘍マーカーの選択

- 肺癌：SCC、CYFRA、
- 肝癌：AFP、PIVKA-II
- 大腸癌：CEA、CA19-9
- 膵臓癌：CA19-9、エラスターゼ1
- 卵巣癌・子宮がん：CA125、CA15-3、SCC
- 乳癌：CA15-3、CEA、
- 前立腺癌：PSA

\* 癌の組織型、進行度により陽性率が異なる

### 病気が無くても高くなることがあります！

腫瘍マーカーの中には、がんが無いのに高値となるものやその要因（喫煙や加齢、妊娠等）などが知られているものがあります。

### 各腫瘍マーカーの偽高値となる要因

- CEA : 加齢と共に上昇、喫煙者では高値
- AFP : 妊娠後期に高値
- CA19-9 : Lewis血液型\*の影響あり(Le<sup>a+b-</sup>型で低値)
- CA125 : 妊娠前期に高値、月経期に高値
- SCC : 妊娠経過と共に上昇、黄体期に、喫煙者で上昇
- PSA : 前立腺刺激により上昇
- NSE : 小児では成人より高値

\*Lewis型血液型：ABO式あるいはRh式などと同じで赤血球の型の一つ



### 腫瘍って、がんのこと？

『腫瘍 = がん』ではありません！

腫瘍とは、細胞が異常に増殖してかたまり(塊)になったもの。腫瘍には良性と悪性があり、悪性腫瘍がいわゆる癌(がん)の事じゃ。

良性の腫瘍は、増殖が遅く、局所に留まってゆっくり成長し、浸潤や転移することのない腫瘍じゃ！。子宮筋腫や脂肪腫、おでき、イボ、ポリープなどが含まれるぞ！。



\*漢字で「腫」は「はれる」、「瘍」は「できもの」を意味するので、「腫瘍」は「はれたできもの」ですね。

問合せ先：検査室 佐藤まで